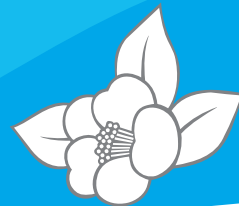


# ごとうろ



## 国境離島新法施行感謝の集い

7月16日に国境離島新法施行感謝の集いが開催され、市民ら約1,200人が新法を最大限活用し、島の地域振興を図っていくことへの決意を新たにしました。

## 目次

補正予算の主な事業	P2
一般質問	P3~ P6
委員会審査	P7
審査結果、賛否一覧表、管内調査	P8
行政調査	P9~ P10
特別委員会設置、永年勤続議員表彰	P10
編集後記	P10

さらに、請願1件、議会議案1件、陳情2件についても、それぞれ審議決定されました。

6月定例会は、6月14日から30日までの17日間の日程で開催されました。6月19日と20日には、8名の議員が一般質問を行い、21日から28日までは、各常任委員会が開かれ、付託された議案等について審査を行い、最終日の30日に、市長提出議案の平成29年度補正予算、条例等13件を可決人事案件20件を同意。

## 6月定例会のあらまし

# 補正予算の主な事業

## 国際交流事業

129万3千円

ハワイの団体HAPAとの交流事業として、9月頃にハワイから若手経営者を中心とした団体が来島し、市内経営者等との意見交換会や事業所・観光地視察、農業体験等を実施する。

## 養護老人ホーム松寿園管理事業

310万5千円

養護老人ホーム松寿園は、平成29年度末までに民間移譲することとし、民間移譲検討委員会を立ち上げ協議を行っている状況であり、施設の移譲にあたり、敷地の測量及び鑑定評価の実施と建物の表題登記手続を行う。



養護老人ホーム松寿園

## 3世代同居・近居促進事業

200万円

安心して子供を産み育てることが出来る住まい及び居住環境の形成促進を目的として住宅の取得及び改修に対する費用の一部を助成する事業で、新築住宅の取得など補助対象の拡充を図る制度改正に伴い見込まれる申請件数の増加に対応するため補助金を追加する。

## 強い農業づくり交付金事業

8千339万9千円

国産農畜産物の安定供給を行い産地競争力の強化を図るため、生産から流通までの強い農業づくりに必要な施設整備について支援するもので、低コスト耐候性ハウス整備事業2件に対して補助を行う。

## 畜産クラスター構築事業

3億4千356万6千円

畜産クラスター計画に基づき、今年度からの2カ年事業として実施する養豚にかかる施設整備事業に対して補助を行う。

## 新構造改善加速化支援事業

379万3千円

農業者の経営規模拡大や高付加価値化等による農業所得向上、次代の担い手の確保育成、農山村地域を活性化する活動に必要な施設機械の導入を支援するもので、APハウス(鉄骨補強型パイプハウス)の整備事業に対して補助を行う。



APハウス

## 水産物販路拡大事業

6千333万4千円

水産加工品の都市圏での販路拡大等を促進するため、水産加工業者が導入するトンネルフリーザー等の購入費用の一部に対して補助を行う。

## 離島航空路新規路線対策事業

7千533万3千円

オリエンタルエアブリッジ(〇

RC)が、経営改善を図るために福岡ー宮崎線等の新たな路線へ進出するにあたり、乗員の確保や訓練等の費用として必要となる経費を長崎県及び離島3市において2年間で負担する。

## 旅客航路事業対策補助金

3千891万6千円

離島航空路の平成28年度(平成27年10月から平成28年9月)実績に欠損金を生じたため、五島市旅客航路事業対策補助金交付要綱及び五島市五島沿岸航路整備補助金交付要綱に基づき国、県の補助残に対して補助を行う。

## 市道白這線道路整備事業

5千万円

工法の変更、労務及び資材単価の高騰のほか工事期間中における真珠養殖業への環境被害防止対策のための費用増により全体事業費が増加しており、平成30年度の完成を目指し、事業の進捗を図るため工事請負費を追加する。

# 一般質問 市政を問う

(議員写真は西日本新聞社提供)

**問** 福江港ターミナル内にATM設置を

**答** 現状では設置は厳しいが、金融機関へ要望していききたい



網本 定信 議員

**質問** 観光客の利便性向上のため、福江港ターミナル内へのATM設置を金融機関へ要望できないか。

**答弁** 金融機関の市場調査の結果、現状では採算が合わず設置は厳しい状況と伺っている。今後、世界遺産登録が実現すれば交流人口の増加が見込まれることから、設置へ向け要望していききたい。

## スポーツ合宿の対応状況は

**質問** 島外からの小・中学校、高校向けスポーツ合宿の対応状況は。

**答弁** 昨年度は過去最高の105団体、1千987名の選手と関係者が合宿のために来島し、そのうち6割が小、

中、高校生となっている。延べ10泊以上宿泊する団体に宿泊費1人1泊2千円と来島経費1人千円を10万円を上限に助成するほか、港・空港での出迎えや見送り、荷物搬送の手伝いも行っている。今後も宿泊、輸送、飲食など関連団体等と連携し、受け入れ体制づくりの整備に努めたい。



スポーツ合宿で来島した子供たち

## 漁師食堂の利用状況は

**質問** 漁師食堂五島灘のオープン後の利用状況は。

**答弁** 4月に営業を開始し、観光協会と連携して魚市見学等を組み合わせたツアー募集を行ってきたが、定員に満たず稼働実績はない状況である。事業主体の五島ふくえ漁協も土日の朝食限定から、平日受け入れやランチの対応も加える変更を行い、観光協会が漁師食堂を組み込んだ新たなツアー募集を行っている。また、先々は一般市民向けの対応も検討するとのことである。

**問** ヒバクシャ国際署名に対する市の取り組み方針は

**答** ホームページ等を活用し、市民へ周知していききたい



江川美津子 議員

**質問** ヒバクシャ国際署名は、被爆者が速やかな核兵器廃絶を願う、すべての国に核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを求める署名運動で、2020年までに数億筆、長崎県内で50万筆の署名を目標にしているが、署名に対する市の取り組み方針は。

**答弁** 被爆者の訴えに賛同し、市長が賛同人として就任しているほ

か、市職員にも署名の協力を求め、昨年12月に署名簿を提出している。今後は、市のホームページ等を活用し、市民へも周知していききたい。

## 国境離島新法施行に伴う運賃低廉化の課題は

**質問** 国境離島新法施行に伴う航路・航空路運賃の低廉化により島外消費がふえ地域の商店が疲弊するのではとの声が聞こえるが、対策が必要では。

**答弁** 運賃の低廉化により市民から喜びの声が届く一方で、地元の商店が寂しくなるという声もある。現在、地域が主体となって商店街の将来を議論する動きがあり、市としても地域で議論することが一



ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える  
核兵器廃絶国際署名  
被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

私は被爆者の訴えに賛同して署名します

氏名	住所

(この署名は、別途に提出します)

【取り扱い団体】

### ヒバクシャ国際署名にご協力を

- 長崎の呼びかけ人
- 井原 東洋一 長崎県被爆者手帳友の会会長
  - 川野 浩一 長崎県平和運動センター被爆者連絡協議会会長
  - 谷口 博輝 一般財団法人長崎原爆被災者協議会会長
  - 中島 正徳 長崎県被爆者手帳友の会会長
  - 正林 克記 長崎原爆連絡会会長

- 代表賛同人
- 中村 清道 長崎県知事
  - 田上 富久 長崎市長
  - 朝長 万寿男 核兵器廃絶地球市民集会ナガサキ実行委員長
  - 橋本 昭幸 公益財団法人長崎平和推進協会理事長

『ヒバクシャ国際署名』をすすめる長崎県民の会  
事務所 〒852-8115 長崎市岡町8-20  
長崎原爆被災者協議会 電話 095-844-0958 FAX 095-847-9135  
共同代表 谷口博輝 (被爆者) 朝長万寿男 (核兵器廃絶地球市民集会ナガサキ実行委員長)  
※この署名は、これ以外の目的では使用しません

### ヒバクシャ国際署名の署名用紙

一番有効であると考えられることから、積極的にかかわっていくと、市民には、地域での買い物と呼びかけ、サービス向上なども含めた商店街の努力にも期待したい。

**問** 市長が思い描く二次離島振興の具体策は

**答** 島の特色を生かした取り組みを進め、継続的に居住が可能となる環境整備に努めたい



林 睦浩 議員

**質問** 二次離島地域の活力を維持及び向上させる措置について、個々の離島の実績を考慮しつつ、具体的なアクションプランが必要だと考えるが、市長の描く二次離島振興の具体策は。

**答弁** 二次離島地域では福江島の2倍以上の速さで人口減少が進んでおり、振興策は急務である。地域おこし協力隊制度を活用し、新たな島の価値の創出や地域の活性化に取り組むとともに、久賀島と奈留島では世界遺産登録を見据えた観光客の受け入れ体制の整備を進めている。そのほか、しま留学の実施やマグロの養殖基地化、ジオパークの推進など、それぞれの島の特色を生かした取り組みを進め、継続的に居住が可能となる環境整備に努めたい。

**問** 福江―佐世保航路に対する今後の市のかかわり方は

**質問** 5月1日から福江―佐世保航路が就航し、観光客や交流人口の拡大などが期待できるが、新航路の開設に当たり、市の対応と今後のかかわり方は。

**答弁** 福江港ターミナルビル内での切符販売窓口の設置や利用棧橋の調整、国境離島新法による運賃低廉化適用の国への働きかけを行ってきた。この航路の開設によって、佐世保地区からの新たな観光客の獲得につながるものと期待しており、今後、旅行会社への営業の際にもアクセス手段の一つとして最大限に活用し、さらなる交流人口の拡大につなげたい。



福江 - 佐世保航路を就航している「ありかわ8号」

**問** 雨通宿地区に水道施設の整備を

**答** 水道本管の整備は難しいが、実情に応じた支援対応を検討したい



野口 善朗 議員

**質問** ①雨通宿地区へ水道本管の新設整備ができないか。②水道本管布設以外の方法も含めた飲料水確保のための取り組みは。

**答弁** ①整備事業費が多額になることに加え、施設の維持管理費用や今後の人口減少等を勘案すると水道本管の布設は困難である。②飲料水供給施設の整備も市単独事業となり、多額の費用を要するため地区の実情に応じた支援対応を検討したい。



雨通宿の集落

**まちづくり協議会に対する行政の支援体制は**

**質問** 地域の振興のため、各地区

に設置されているまちづくり協議会に対する行政の支援体制は。

**答弁** まちづくり協議会は、地域コミュニティの推進と地域課題を住民みずからの力で解決していく取り組みを行っており、財政支援として地域の絆再生事業交付金の交付と人的支援として協議会の事務局員に支所、出張所職員と集落支援員を配置している。今後、地域づくりについて学び合う発表会等を継続的に実施するなど人材育成を図り引き続き支援する。

**文化財専門職員の配置状況と育成は**

**質問** 文化財の保存管理や未発掘資源の調査研究を行う専門職員の配置の現状と今後の育成は。

**答弁** 現在、専門職員1名と五島観光歴史資料館に嘱託職員の学芸員1名を配置している。世界遺産や日本遺産の取り組みなど文化財を活用した新たな地域づくり推進のために文化財専門職員の配置の重要性は認識しているが、文化財担当課員のスキルアップ研修受講等で人材育成に努め対応していきたい。

**問** 全ての来島者に運賃低廉化をすべきでは

**答** 制度上、全てはできないが、一部の来島者については、準住民として適用できるように調整している



宗 藤人議員

**質問** 交流人口の拡大により、島内消費の増と経済波及効果が期待されることから、島民に限らず五島を訪れるすべての来島者に国境離島新法を活用し運賃低廉化をすべきでは。

**答弁** 国の要綱では航路・航空路の運賃低廉化は島民を対象としており、全ての来島者に対しての割引運賃の適用はできない制度となっている。ただし、島外に居住している18歳以下の児童・生徒で島民の親が扶養している場合や、移住・定住を目的とした体験移住などのために来訪する者、離島留学生の保護者などを準住民と位置づけて低廉化を適用できるよう現在、国と調整している。

本市の出身者に対し自主財源を充当してでも運賃低廉化を

**質問** もともと五島市民であった人達に自主財源を充当してでも運賃低廉化を図れないか。

**答弁** 本市出身者のみでの試算は難しいため、観光客も含めた島民以外の方を全て低廉化の対象とした場合で試算すると、6億5千万円の財源が新たに必要となり、市の財政状況を考えると自主財源のみで実施することは困難である。実現はかなり厳しいと思われるが、準住民の取り扱いを拡大して認定できるように国に対して要望していきたい。



国境離島新法により運賃が低廉化されたジェットfoil

**問** 雇用の場における人手不足対策は

**答** 情報発信の強化や関係機関との連携により人材確保に努めたい



木口 利光議員

**質問** 国境離島新法による雇用拡充策の進捗状況は。また、今後最も懸念される雇用の場における人手不足対策を強化すべきでは。

**答弁** 雇用増を伴う創業又は事業拡大を行う事業者に事業資金の一部を助成する事業の公募を行ったところ78件の応募があり37件を採用した。計画に沿った事業展開により138名の雇用創出が見込まれている。人材の確保については、UIターン希望者など島内外への情報発信を強化するとともに、ハローワークやなごさき移住サポートセンター等の関係機関と連携しながら支援していく。また、外国人技能実習生の受け入れについても注視していく。



もう1泊を実現するための「しま山」登山コースづくり

「もう1泊」を実現するための着地型観光推進体制の強化を

**質問** 市における延べ宿泊数増のため、組織と人材の両面での体制強化による司令塔づくりを急ぐべきでは。

**答弁** 地元主導による推進組織体制は、市と五島振興局による有人国境離島推進プロジェクトチームを中心に観光協会や市内の観光事業者と連携しながら「もう1泊」の実現とともに組織力強化につなげていきたい。また、滞在型観光の推進のために、旅行のプロである大手旅行会社の協力や内閣府任命のアドバイザーの助言を求めることなどで外から目線で五島の魅力を引き出す旅行商品が開発できると考えていることから、人材確保についても努力していきたい。

**問** 三井楽地区に水道水の過施設が必要では

**答** 必要性を見極め、今後の対応を検討したい



草野 久幸 議員

**質問** 市の上水道と簡易水道の中で、三井楽地区のみが、ろ過施設がなく減菌処理だけで配水されているが、ろ過施設の整備が必要ではないか。

**答弁** 水道水の毎日検査で異常は確認されていないが、大量の降雨時等に濱ノ畔水源の原水が濁度・色度ともに増すことは事実である。今年度中に状況を調査し、ろ過施設の必要性を見極め、今後の対応を検討したい。

**庁舎建設における住民意見の反映は**

**質問** 大型事業を計画する際に最も大事なことは、市民の理解と意見の反映であると思うが、庁舎建設における住民意見の反映は。

**答弁** 市民2千人を対象にアンケートを実施し、いただいた意見を

を反映して基本計画案を策定した。また、3月には計画案に対するパブリックコメントを実施し、本庁舎建設基本計画を策定している。5月には計6箇所で開催し、市の考え方を改めて説明したところである。今後は7月31日までアイデアを広く募集する。

**福江幼稚園の民間移譲の進捗状況は**

**質問** 福江幼稚園の民間移譲の進捗状況と保護者の不安解消の取り組みは。

**答弁** 移譲先法人に決定した学校法人双葉学園が、現在、私立学校審議会への認可申請の準備を進めている段階である。認可後、関係条例の整備等を行い、平成30年4月の移譲に向け事務を進めていく。また、保護者の不安解消のため移譲先法人と保護者の意見交換の場を設けることとしている。



来年4月に民間移譲される福江幼稚園

**問** 奈留島―前島航路の市営交通船乗降時の安全対策は

**答** 浮体式係船岸を設置予定である



野茂勇司 議員

**質問** 奈留島―前島間の海上タクシーによるデマンド運航の状況と乗降時の安全対策は。

**答弁** 平成28年10月から平成29年3月までの利用者数は、昨年とほぼ変わらない状況で、デマンド運航導入の結果、運航回数が50回減少しており、乗客の集約による効率的な運航が図られたものと考えている。乗降時の安全対策については、県に浮体式係船岸の設置を要望していたところ、平成29年度に実施設計を行い、平成30年度に笠松地区及び江ノ浦地区岸壁に浮体式係船岸を1基ずつ設置予定との回答を得ている。

**奈留島における廃船処理の取り扱い**

**質問** 奈留島に処理が行われずに

放置されている廃船がある。この問題への対策は。

**答弁** 平成25年に立ちあげた奈留島における不法占用廃船対策協議会が、年3回の会議と毎月1回の廃船パトロールを実施しているほか、毎月、所有者と面談を行うとともに廃船状況を確認し所有者ごとの処理計画を作成し廃船処理を指示しており、この結果、廃船は年々減少している。今後も廃船の増加を防ぐために各港の町内会長へ、監視・通報等の協力の呼びかけや、廃船処理を行わない時は新規の漁船登録を出来ないようにするなど関係機関と連携を図っていく。



奈留島の港に放置された廃船

# 委員会分科会の審査

## 総務委員会

○議案第62号 和解及び損害賠償の額の決定について

### 提案理由

公用車の交通事故について、相手方と和解し損害賠償額を決定したため、地方自治法の規定により議会の議決を経る必要がある。

**問** 職員が交通事故を起こした際の処分規定は。

**答** 五島市職員の懲戒処分の基準において規定されており、人身・物損事故などの事故内容のほか道路交通法上の違反行為の内容に応じて懲戒処分の種類が定められている。なお、懲戒処分の決定については同基準を参考とするほか過去の処分事例、その他の判断基準を総合的に勘案した上で判断する。

## 文教厚生委員会

○福江城石垣の清掃業務委託料  
156万2千円

**問** 委託料を計上した経緯は。

**答** 労働安全衛生規則の改正により、これまで市内事業所の協力を得て実施していたロープを使った高所作業による清掃作業の実施が困難となったことから、文化財の適切な管理・保存と、重要な観光スポットとしての景観を維持するため委託業務による清掃作業を行うこととした。



福江城の石垣

○養護老人ホーム松寿園の民間移譲に向けた土地の測量、鑑定評価及び建物の登記事務委託料  
310万5千円

**問** 施設の民間移譲先の選定方法は。

**答** 候補者の募集は土地の鑑定評価に基づく譲渡希望価格を提示し、公募により行うこととしている。選定については、応募者から提案される土地の購入価格などを今後策定予定の審査要領や基準に基づき総合的に審査した上で社会福祉施設民間移譲先選定委員会において

て運営法人候補者を決定する。

## 経済土木委員会

○畜産クラスター構築事業費補助金  
3億4千366万6千円

**問** 事業の内容は。

**答** 養豚に係る施設整備事業として今年度から2カ年で新たに豚舎等を整備するもので、今年度は主に繁殖部門と排水処理施設の整備を、来年度は肥育部門の整備を行う予定である。

**問** 当該事業による食肉センターへの出荷頭数の増頭は。

**答** 出荷頭数については前向きに検討するよう受益者においており、食肉センターの目標頭数を踏まえ今後協議していきたい。また、他の業者にも協力を依頼し、目標頭数を達成したい。

○離島航空路新規路線対策事業費負担金  
7千533万3千円

**問** 事業の内容は。

**答** オリエンタルエアブリッジ(ORC)の経営改善を図るため、現在、全日空が運航している福岡ー宮崎線、福岡ー福江線等の一部

をORCが運航する予定であり、その初期費用として、乗員の確保・訓練費用、訓練用航空機の賃借料、ORCの福岡事務所の開設費用等8億4千300万円が必要となる。今回の補正は当該初期費用について県と離島3市に費用負担を求められていることから、当市の負担額9千366万6千円のうち当年度分を計上している。

**問** 他市が反対した場合や乗員確保がうまくいかなかった場合などには負担金が増額となるのでは。

**答** 初期費用については、市としてはこれ以上の負担は考えていない。

**問** 新規路線参入が経営改善となる根拠は。

**答** 参入予定の路線については、経費を差し引いて年約2億円の利益が出るよう全日空に座席を買い取ってもらうことから安定した収益が確保できる。



福江ー長崎線、福江ー福岡線を結ぶORC

## 審査結果

議案番号	件名	審査結果	議案番号	件名	審査結果
議案第52号	五島市特定個人情報保護条例及び五島市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決	議案第69号	五島市農業委員会委員の任命について	同意
			議案第70号	五島市農業委員会委員の任命について	同意
			議案第71号	五島市農業委員会委員の任命について	同意
			議案第72号	五島市農業委員会委員の任命について	同意
議案第53号	五島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部改正について	原案可決	議案第73号	五島市農業委員会委員の任命について	同意
			議案第74号	五島市農業委員会委員の任命について	同意
			議案第75号	五島市農業委員会委員の任命について	同意
議案第54号	五島市立幼稚園条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決	議案第76号	五島市農業委員会委員の任命について	同意
			議案第77号	五島市農業委員会委員の任命について	同意
議案第55号	五島市単独住宅管理条例の一部改正について	原案可決	議案第78号	五島市農業委員会委員の任命について	同意
議案第56号	財産の取得について	原案可決	議案第79号	五島市農業委員会委員の任命について	同意
議案第57号	財産の取得について	原案可決	議案第80号	五島市農業委員会委員の任命について	同意
議案第58号	財産の取得について	原案可決	議案第81号	五島市農業委員会委員の任命について	同意
議案第59号	財産の取得について	原案可決	議案第82号	五島市農業委員会委員の任命について	同意
議案第60号	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	原案可決	議案第83号	平成29年度五島市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
			議案第84号	平成29年度五島市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第61号	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	原案可決	請願第1号	子どもたちのゆたかな教育環境をつくるための教職員定数改善と学校現場における働き方改革の推進を求める請願	採択
議案第62号	和解及び損害賠償の額の決定について	原案可決			
議案第63号	五島市固定資産評価員の選任について	同意	議会議案第2号	子どもたちのゆたかな教育環境をつくるための教職員定数改善と学校現場における働き方改革の推進を求める意見書	原案可決
議案第64号	五島市農業委員会委員の任命について	同意			
議案第65号	五島市農業委員会委員の任命について	同意			
議案第66号	五島市農業委員会委員の任命について	同意			
議案第67号	五島市農業委員会委員の任命について	同意	陳情第1号	五島市による物品の発注に関する陳情	結審
議案第68号	五島市農業委員会委員の任命について	同意	陳情第2号	療養費不正請求チェック体制強化に関する陳情	結審

## 賛否一覧表

○：賛成 ×：反対 -：欠席

会派・議員名	新政未来と自民の会										市民ネットワーク		政策会		日本共産党		公明会	ごとう改革21	心風会
	明石博文	荒尾正登	木口利光	清川久義	神之浦伊佐男	宗藤人	野口善朗	野茂勇司臣	林睦浩	村岡末男	網本定信	草野久幸	片峰亨	古川雄一	江川美津子	橋本憲治	相良尚彦	山田洋子	三浦直人
議案第52号～第84号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

農業施設、水産施設、スポーツ施設、公園施設、水道施設等を訪れ、各施設の現状及び事業の進捗状況や課題等について調査を行った。



玉之浦のドーム型牛舎

### 経済土木委員会

農業施設、水産施設、スポーツ施設、公園施設、水道施設等を訪れ、各施設の現状及び事業の進捗状況や課題等について調査を行った。

世界遺産候補の構成資産と関連施設の整備予定地、今年度改築等の工事に着手する消防署岐宿・玉之浦両出張所を訪れ、施設等の現状把握と事業の実施計画等について調査を行った。



久賀島観光交流拠点センターとして改修予定の古民家

### 総務委員会

管内調査を4、5月に実施

総務・経済土木委員会



## 議会運営委員会・ 議会広報特別委員会 行政調査を5月に実施

### 議会運営委員会

#### ◎議会改革の取り組み及びIT化の推進(タブレットパソコンの導入)について 三重県四日市市・鳥羽市

四日市市議会のIT化の推進については、議会の見える化検討会を設置し、大型スクリーン、採決表示システム及びペーパーレス化を目指したタブレット端末の導入を行っていました。なお、タブレット端末については、情報通信機器使用基準を設け、議場での使用が可能でありました。

タブレット端末を導入した場合の効果としては、ペーパーレス化が挙げられることから、五島市議会においても導入について研究するべきではないかと思えます。

議会改革の取り組みについては、「市民との情報共有」「市民参加の促進」「議員間討議の活性化」の3つの柱を基本方針とする議会基本条例を平成23年3月に制定し、議会活動について積極的な情報公開、議会における討議に市民意見

を反映させる仕組みの構築、議員間での討議を活性化し、集約された意見から政策立案・政策提言を行うなど基本方針に基づき忠実に実行されていきました。議会報告会については、定例月議会毎に議会報告会とシティ・ミーティング(市民との意見交換会)を開催しており、開催日時については、平日の夜や土曜日の昼間とするなど多くの市民が参加しやすいように設定されていきました。このほか、質問者席の設置(対面式)に伴う一問一答方式の採用、議会期間中を除き、文書により執行部に對して質問を行うことができる文書質問制度、通年議会の導入、市議会モニター制度など多くの議会改革に取り組んでいました。



鳥羽市での調査

次に、鳥羽市議会のIT化の推進については、全議員が政務調査費等で購入・契約をしてiPadを導入していました。使用については、グーグル社の無料クラウドサービスを利用し、委員会資料などを共有し連絡事項もメールを利用し、一部ペーパーレス化や郵

送代の削減にも取り組んでいました。また、議場内にモニターを導入し、iPadを表示できるようにし、パネルを使った一般質問も実施しているとのことでありました。これらの説明を聞き、当市議会でも導入できるのではないかと考えさせられました。

議会改革の取り組みについては、議会報告会及び意見交換会を平成21年度から実施していたが、参加人数も年々減少し、陳情・要望活動になることが多かつたため、議会報告会のあり方を再検討し、平成28年に広報広聴委員会を設置し、TOBAミライトークとし再始動したとのことでありました。五島市議会においても、全議員がいろいろなアイデアを考え地域のテーマ設定を考えていけば、十分できるのではないかと考えさせられました。

### 議会広報特別委員会

#### ◎議会だよりの編集について 福岡県大刀洗町・大分県大分市

議会における広報委員会は、市民の皆様には議会の活動状況を分かりやすく伝える役割を担っており、

「市議会だより」はその大きな手立てである事は言うまでもありません。今回私も議会広報特別委員会はその思いを込め、全国の議会広報紙コンクールにおいて複数回の受賞実績を持つ先進自治体、福岡県三井郡大刀洗町議会と大分県大分市議会を視察させていただきました。

大刀洗町議会では、広報委員会を常任委員会として位置づけ、一度の広報紙発行に、本市では2〜3回の編集作業であるところを、毎回5〜8回委員が集まり協議・作業を重ね、住民にわかりやすい紙面づくりを心掛けているとのことでした。さらに、議会モニター制度など住民の声を紙面に反映させる仕組みづくりや、フェイスブック活用にも取り組んでおり、さすがは全国町村議長会主催の議会広報コンクールで2年連続入選した自治体であるなと感心いたしました。

次に、大分市議会では、平成21年度に外部有識者2名を交え、広報委員会を紙面見直し



大刀洗町での調査

に着手し、その成果として親しみやすい紙面づくりや議会からのメッセージを議員が直接伝える、トップページでの「クローズアップ議会」のコーナーに結びついたとの事でした。現在「大分市議会だより」は所属する全国中核市議会議長会主催の議会報コンクールで最優秀賞を受賞するなど内外から高い評価を受けており、今後も学ぶところが大きいものと感じました。

## 人口減少問題対策 特別委員会を設置

設置期間は

平成29年6月30日から  
平成33年2月26日まで

現在、五島市が抱える人口減少問題について、国境離島新法による雇用の拡充を除いた雇用対策、移住者支援策、子育て支援策等に関する対策調査を行う。

委員長 網本 定信  
副委員長 草野 久幸

委員 山田 洋子  
宗 藤人  
江川美津子  
橋本 憲治

## 永年勤続議員表彰

去る5月24日に開催された全国市議会議長会定期総会において、本市議会から3人の議員が表彰されました。

議員在職15年以上



網本 定信 議員

議員在職15年以上



清川 久義 議員

議員在職10年以上



村岡 末男 議員

9月定例会は9月13日(水)開会予定です。

## インターネット議会中継

本会議の生中継、平成22年6月定例会以降の本会議の映像を見ることができます。  
<http://www.goto-city.stream.jfit.co.jp/>

☆表紙の題字「市議会だより」は、



福江中一年  
山下諒真

さんの作品です。

☆表紙の題字「ごとう」は、



みどり丘一ねん  
中むらさあや

さんの作品です。

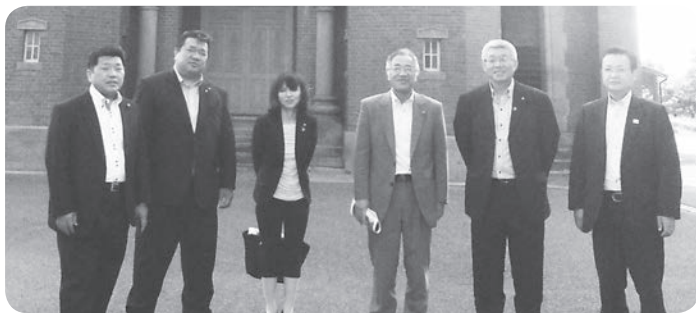
## 編集後記

6月定例会を終え、今回もたくさんの方の事を学ばせて頂いた中で、「人口も経済も右肩上がりが良い！」という事を強く感じました。町を活気づけるには、そこに暮らす人、働く皆様が身体的・精神的、そして経済的に豊かで元気でないとはいけません。そうつくづく実感しております。

努力と行動を具体的に学び、五島に活かしたいと活動しております。今、新たな策を作り行動すれば町は勿論皆様も元気になるでしょう。私は「これで良いだろう」ではなく「これでもか！」の精神で新陳代謝する町づくりに、五島市を愛するみんなと力を合わせ全力で向かいます。

(山田 洋子)

今や、SNSなどのインターネットサービスによって、世界に向けて個人が情報発信するところが簡単になり、私も日々五島の画像に文章を添えて発信しています。また、メディアの注目を集め、長年の景気低迷から数年で復活した観光地・熱海の裏の



## 議会広報特別委員会

委員長 木口 利光 委員 清川 久義  
副委員長 山田 洋子 委員 林 陸浩  
委員 野口 善朗 委員 荒尾 正登



この広報紙は植物油インキを使用しています。